

6. 国民運動、人権・平和、社会貢献などの取り組み

メーデーの開催や平和行動への参画、地球環境保全の取り組みなどの国民運動へ積極的に取り組みます。また、あらゆる差別の根絶や人権意識の醸成に向け、人権政策の推進や人権教育・啓発などの運動に取り組みます。

(1) メーデーの開催

- ① 岡山県中央メーデー、家族ふれあいメーデーは、組合員はもとより「地域に顔の見える運動」として、広く県民に参加を呼びかけ開催します。
- ② メーデーは、地協単位で「家族ふれあい型」、地域連絡会で開催する場合「集会型」を基本とし、2020年までに見直し論議を進めます。
- ③ 岡山県中央メーデー「花いっぱい運動」については「一人ひとりの少額のカンパによりメーデーを開催する」とした運動を後世に継承するとの認識をあらためて共有し、引き続き、展開します。
- ④ メーデーに関わる費用の効率的な運用に努めるとともに、企画段階において、財政を考慮した開催方法や運営方法等について検討を行います。

(2) 平和・人権に関する取り組み

- ① 平和行動 in 岡山を開催し、組合員や県民の平和に対する意識高揚をはかります。
- ② 核兵器廃絶、在日米軍基地の整理縮小、北方領土や竹島を中心とした問題などの解決に向け、連合本部・中国ブロック連絡会および関係団体と連携した取り組みを進めます。
- ③ あらゆる差別の撤廃に向け「人権学習会」を開催します。

(3) 社会貢献・地域貢献などの取り組み

- ① 地協を中心に地域のボランティア活動などに積極的に取り組みます。
- ② 引き続き、連合「愛のカンパ」に取り組みます。
- ③ 大規模災害発生時には、連合本部の要請に基づき「連合岡山災害対策本部」を設置し、取り組み等について協議・対応します。
- ④ 温室効果ガスの削減や省エネ意識の醸成のため、連合本部がすすめる「連合エコライフ21」の取り組みを継続します。

(4) 国際連帯の取り組み

- ① 中国生産性本部・中国労組生産性会議が主催する海外労働事情視察団については要請に基づき適切に対応します。
- ② その他の国際連帯に関する課題検討・取り組みについては、連合本部の方針なども踏まえて検討します。
- ③ すべての人の「ディーセント・ワーク」の実現に向けて、概念の普及拡大をはかるため、世界行動デー等に取り組みます。また、ディーセント・ワークの促進に合わせ「国連・持続可能な開発目標（SDGs）※」の周知活動を行います。

※ 先進国、途上国の別なく「誰一人取り残さない」ことを誓い、2015年に国連サミットで採択された開発目標です。